

社 会

社会的な見方・考え方を働かせることができる単元の構成と資料・発問の工夫

資質・能力の育成を図るためには、児童生徒が社会的な見方・考え方を働かせながら学ぶことが大切です。そのために、単元全体を見通して、視点（見方）や方法（考え方）に基づいた学習課題や発問等を、活用する資料とともに工夫していきます。

POINT 単元の構成について

学習指導要領や解説を基に、単元の目標と評価規準を設定します。また、毎時間の学習課題の解決が、単元の学習課題の解決につながるように単元を組み立てます。

[指導事例] 小学校第3学年
単元：市の様子の移り変わり

学習課題【全10時間の内の一部】

※資料提示と発問を工夫し、児童の疑問を生かして設定します。

2 私たちの市は、どのように変わってきたか。

<単元の学習課題> 私たちの市や暮らしの様子は、どのように移り変わってきたのだろう。

3 市の交通の様子は、どのように変わってきたか。

※4時間目～7時間目は、土地利用、人口、公共施設、生活の道具について同様に調べる。

8 <単元のまとめ>（めあて）市の移り変わりを表にまとめよう。（～第9時）

この単元では、移り変わりを調べるために、三つ以上の時期を取り上げます。現在と、時代の分岐点を選びます。

[単元で使用する資料の例]

【60年前の地図】

【現在の地図】



- ・40年前の地図も準備します。
- ・調べたことをまとめた表を活用します。

〇〇市の移り変わり

	60年前	40年前	現在
地域の様子	山や田、畑が多い。	新しい店ができた。	家が増えた。
交通	電車が走っている。	道路が広がった。	高速道路ができた。
土地利用	田や畑が多い。	家や店が増えた。	大きな工場ができた。

POINT 資料について

単元及び本時の学習課題を基に、必要な資料を考えます。児童生徒に読み取らせる情報や複数の資料を関連付けて考察させる内容等を吟味した上で、資料を精選します。

POINT 発問について

単元の目標を達成するために、社会的な見方・考え方を働かせることができるように発問します。特に、資料から読み取った事実を基に、社会的事象の特色（傾向やよさ）や意味（働きや役割）等を考えさせる発問をしっかりと準備しましょう。

[展開例] 教師(T)からの見方・考え方を働かせる発問と、児童(S)の姿

[第5時：資料を読み取り、事実をつかむ]
T：それぞれの時期では、どこにどんな土地が広がり、どんな建物が見られますか。

S1：60年前は市のほとんどが田や畑です。

S2：家や店は、南側の駅のそばに多いです。

S1：他の時期と比べると、森林も多いです。

T：S1さんのように、他の時期と比べてみましょう。どのような変化がありますか。

S3：40年前は60年前と比べて、海のそばに家や店が増え、工場も多くなりました。

S4：新しい鉄道も増えています。

S2：現在は大きな工場が作られました。

S3：60年前と比べると、家や店もたくさん増えました。公園は同じ場所にあります。

[第9時：事実を基に、特色等を考える]

T：家や店が増えたのはなぜでしょう。

S4：新しく鉄道ができて、引っ越してきた人が増えたからだと思います。

S2：大きな工場ができたのも理由だと思います。

S1：そうか、鉄道や工場ができたから人が増えて、新しい家が建てられたんだ！

S3：田や畑が減ったのも……（以下省略）

T：では、調べたことをまとめると、私たちの市は、時間が経つに連れてどのように変わったと言えますか。